

事務事業 No./名称	■サービス部門 子育て・25 育成事業 □支援部門						
主管課	青少年課	関連課					
分野名	青少年育成						
目標 (目標値)	家庭、学校や地域と連携する中で青少年の健全な育成を図る。						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳) 7歳～20歳以下の人数		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
	事業の対象者数	20,162人	20,002人	19,357人			
事業の対象者数	20,162人	20,002人	19,357人				
運営資源状況	決算値(千円)	5,978	6,450	6,754			
	(国・県)	238	288	288			
	(負担金等)						
	(一般財源)	5,740	6,162	6,466			
	人員配置数	1.8	1.7	1.6			
	人件費(千円)	15,690	15,946	14,983			
	協働のパートナー	青少年指導員連絡協議会 青少年協会	青少年指導員連絡協議会 青少年協会	青少年指導員連絡協議会 青少年協会			
事務事業運営経費	総事業費(千円)	21,668	22,396	21,737			
	市民1人当りの経費(円)	122	126	123			
	対象者1人当りの経費(円)	1,075	1,120	1,123			
	対象者1人当りの経費(円)	1,075	1,120	1,123			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
子ども会支援数	○	目標値	60団体	60団体	75団体	75団体	75団体
		実績値	68団体	71団体	72団体	72団体	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
育成事業	5,978千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E	⇒ ■A □B □C □D □E	
	事業の概要	子ども・若者の健全育成のため子ども・若者育成プランを推進した。また、青少年指導員及び青少年協会と協力連携し、青少年のキャンプなど様々な健全育成事業を行うとともに、成人のつどい事業も行っている。			
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □	⇒ □A □B □C □D □E	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □	⇒ □A □B □C □D □E	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □	⇒ □A □B □C □D □E	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	子ども・若者育成プランに規定した特に重要な取組を進める必要がある。		
課題解決のための取組	特に重要な取組のうち「青少年の居場所づくり」を推進するため、平成24年8月16日にワークショップを開催し、検討した。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	子ども・若者育成プランの特に重要な取組である「青少年の居場所づくり」「支援体制の充実」「子ども・若者による社会参画の推進」について、具体的な方策を図る必要がある。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
	➡	②妥当性 ○		↓	課長等名
		③有効性 ○		A	青少年課長
		④公平性 ○			能條 裕子

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
育成事業	主な個別事業	176 青少年指導員報酬	2,025	1,773	○	○	○	○
		176 青少年問題協議会委員報酬	90	0	○	○	○	○
		176 街頭指導員報酬	288	189	○	○	○	○
		176 子ども・若者育成プラン推進協議会委員謝礼	240	174	○	○	○	○
		176 啓発事業講師謝礼	200	120	○	○	○	○
		176 育成事業委託料	500	500	○	○	○	○
		176 ジュニアリーダーズクラブ研修事業委託料	40	40	○	○	○	○
		176 成人のつどい事業委託料	1,500	1,406	○	○	○	○
		176 芸術館使用料	270	242	○	○	○	○
		176 青少年指導員連絡協議会補助金	417	417	○	○	○	○
		176 青少年協会補助金	73	0	○	○	○	○
		176 子ども会補助金	946	903	△	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							